

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

 タイトル 人・農地プラン策定参画への取組み

 J A 名 丹波ささやま (兵庫県)

1 動機 (経緯)	<p>当 J A 管内の農業において、30 代から 60 代の農業従事者が大きく減少し、将来の担い手不足が危惧されています。ここ 15 年間で借入農地が約 2 倍になっており、兼業農家が半減しています。結果、農地を預ける農家が急増し、土地持ち非農家が急増しています。</p> <p>このような中、当 J A としましては、「人・農地の問題」解決のため、各関係団体と連携を図りながら、地域農業者との話し合いの中で、地域農業をどのように守っていくか、将来の担い手をどのように確保していくかという担い手育成・集落営農づくりを支援することが不可欠であると判断しています。</p>
2 概要	<p>集落や地域での話し合いにより、地区ごとの担い手や農地保全に対する考え、希望をもとに、「人・農地プラン」の策定に参画いたしました。</p> <p>そのプランを実施するにあたり、現状、金融面においては、集落営農・認定農業者等個別の需要に対し、公庫資金・制度資金・J A プロパー資金等で対応しています。</p>
3 成果 (効果)	<p>現在、プランの具体的な実行に向けて、各関係団体と調整を行っているところです。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>モデル集落・営農組織等を設置し、現在の広域単位でのプランから地域・集落プランへと活動をすすめ、集落営農・担い手育成等の支援活動に取り組んでまいります。そして、設備投資等農業者の資金ニーズに迅速に対応できるよう努めてまいります。</p>